

平成28年 6月 28日

各 位

東京都千代田区神田錦町2-1-1
安田不動産株式会社
代表取締役社長 柳原 香積

平成28年3月期 決算（単体）について

以下の事項について、別紙のとおりお知らせいたします。

1. 平成28年3月期 決算（単体）

（本件に関するお問合せ先）
安田不動産株式会社
経営企画部 西川
TEL 03-5259-0517

1. 平成28年3月期決算（単体）

(1) 貸借対照表及び損益計算書の要旨（単体）

貸借対照表の要旨

(平成28年3月31日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	20,481	流 動 負 債	32,872
現金及び預金	10,131	短期借入金	26,664
その他の	10,350	その	6,208
固 定 資 産	221,517	固 定 負 債	125,193
有形固定資産	149,658	長期借入金	93,620
建物	50,820	その	31,572
土地	97,858	負 債 合 計	158,066
建設仮勘定	207	株 主 資 本	58,078
その他の	772	資 本 金	270
無形固定資産	1,200	資 本 剰 余 金	10
投資その他の資産	70,657	資 本 準 備 金	10
		利 益 剰 余 金	57,798
		利 益 準 備 金	67
		その他利益剰余金	57,730
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	25,853
		その他有価証券評価差額金	25,853
		純 資 産 合 計	83,932
資 産 合 計	241,998	負 債 ・ 純 資 産 合 計	241,998

損益計算書の要旨

自 平成27年4月1日

至 平成28年3月31日

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 収 益	29,539	特 別 利 益	81
営業原価	17,517	特 別 損 失	166
営 業 総 利 益	12,021	税 引 前 当 期 純 利 益	7,122
販売費及び一般管理費	4,315	法人税、住民税及び事業税	2,695
営 業 利 益	7,706	法 人 税 等 調 整 額	▲70
営業外収益	1,319	当 期 純 利 益	4,497
営業外費用	1,818		
経 常 利 益	7,207		

(2) 平成28年3月期業績の前期比較と平成29年3月期の業績見通し(単体)

①収益の概況

	28年3月期	27年3月期	増 減	前期比
営 業 収 益	29,539百万円	19,609百万円	9,929百万円	+50.6%
営 業 利 益	7,706百万円	6,410百万円	1,295百万円	+20.2%
経 常 利 益	7,207百万円	5,778百万円	1,428百万円	+24.7%
当 期 純 利 益	4,497百万円	8,120百万円	▲ 3,622百万円	▲ 44.6%

②主要な収益項目の内訳

	28年3月期	27年3月期	増 減	前期比
不 動 産 賃 貸 収 益	17,007百万円	16,428百万円	578百万円	+3.5%
分 譲 事 業 収 益	8,651百万円	181百万円	8,469百万円	+4,679.5%
不 動 産 流 動 化 事 業 収 益	1,413百万円	675百万円	737百万円	+109.3%
仲 介 鑑 定 ・ そ の 他 収 益	2,467百万円	2,322百万円	144百万円	+6.2%

③平成29年3月期業績の見通し(単体)

	29年3月期	28年3月期	増 減	前期比
営 業 収 益	26,500百万円	29,539百万円	▲ 3,039百万円	▲ 10.3%
営 業 利 益	8,100百万円	7,706百万円	393百万円	+5.1%
経 常 利 益	7,500百万円	7,207百万円	292百万円	+4.1%
当 期 純 利 益	5,200百万円	4,497百万円	702百万円	+15.6%

(3) 平成28年3月期業績の補足説明

① 総括

当期の経営成績はレフィール参宮橋ヒルズ等の分譲収益や流動化商品運用収益の増加等が大きく貢献し、営業収益 29,539 百万円、営業利益 7,706 百万円、経常利益 7,207 百万円と前期比増収増益となりました。当期純利益は前期に特別利益として不動産の売却益計上があったため、前期比減益の 4,497 百万円となりました。

② 部門別営業収益概要

不動産賃貸事業につきましては、テナント誘致活動及び賃料改定に注力した結果、前期比 578 百万円増の 17,007 百万円となりました。

分譲事業につきましては、当期は4棟の分譲案件が竣工するなど販売棟数が増加したため、前期比 8,469 百万円増の 8,651 百万円となりました。

不動産証券化事業につきましては、投資商品からの配当金の増加及び売却時の収益分配等を要因に、前期比 737 百万円増の 1,413 百万円となりました。

仲介鑑定・その他事業におきましては、仲介手数料収入増等により、前期比 144 百万円増の 2,467 百万円となりました。

(4) 平成29年3月期業績見通しの補足説明

平成29年3月期は、営業収益 265 億円、営業利益 81 億円、経常利益 75 億円を見込み、当期に比べ営業収益は約 30 億円の減収、営業利益は約 4 億円の増益、経常利益は約 3 億円の増益となる予想です。

これは、主に分譲事業の販売棟数減少の影響により減収となる一方で、既存ビルの空室率低下や賃料増等が貢献し増益と予測するものです。

以上